



6月30日～7月6日の予定

月 日	授 業						校 内 行 事	校外行事・分掌・学年等の行事	給食	部活動 終了	スクールバス		完全 下校
	朝	1	2	3	4	5					1便	2便	
30 月	朝読書	月1	月2	月3	火4	月5	普通日課 3年バイキング給食 清掃ローテーション 朝：朝読書 給食12:40~13:40 清掃14:40~15:00 終会15:10~15:25	※バイキング給食は別日程	○	17:05	15:35	17:20	17:20
1 火	生集	火1	火2	火3	火4	火5	普通日課 朝：生徒集会 給食12:40~13:40 終会15:45~16:00		○	17:40	16:10	17:55	17:55
2 水	清掃	水1	水2	水3	水4	水5	短縮普通日課 合唱練習7 校外組会 朝：清掃（制服可） 給食12:20~13:20 5校時13:25~14:10 合唱14:20~14:35 終会14:45~15:00 校外組会15:10~15:25	・分掌部会（反省）15:45~	○	なし	15:40	-	15:40
3 木	裁打	木1	木2	木3	木4	木5	普通日課 3年実力テスト 朝：学裁/打合せ 給食12:40~13:40 6校時~15:35 清掃なし 終会15:45~16:00	・環境衛生検査13:30	○	17:40	16:10	17:55	17:55
4 金	清掃	金1	金2	金3	総	総	普通日課 4校時：1年生SOSの出し方（安保先生） 朝：清掃（制服可） 給食12:40~13:40 終会15:45~16:00	3年：学級懇談会・学年懇談会 18:30中央会館	○	17:40	16:10	17:55	17:55
5 土										可			
6 日							県陸上専門部強化練習会（楯岡中）		なし				

6月23日は戦後80年目の「沖縄慰霊の日」でした。今年、平和の詩を朗読したのは豊見城（とみぐすく）市立伊良波（いらは）小学校6年の城間一歩輝（いぶき）さん（11）。（右下の写真）

少し長いですが読んでみてください。

「おばあちゃんの歌」

毎年、ぼくと弟は慰霊の日におばあちゃんの家に行って
仏壇に手を合わせウートートーをする
一年に一度だけ
おばあちゃんが歌う
「空しゅう警報聞こえてきたら
今はぼくたち小さいから
大人の言うことよく聞いて
あわてないで さわがないで 落ち着いて
入って いましよう防空壕」
五歳の時に習ったのに
八十年後の今でも覚えている



<裏へ続く>

笑顔で歌っているから
楽しい歌だと思っていた
ぼくは五歳の時に習った歌なんて覚えていない
ビデオの中のぼくはあんなに楽しそうに踊りながら歌っているのに
一年に一度だけ
おばあちゃんが歌う
「うんじゅん わんにん 艦砲ぬ くえーぬくさー」
泣きながら歌っているから悲しい歌だと分かっていた
歌った後に
「あの戦の時に死んでおけば良かった」
と言うからぼくも泣きなくなった
沖縄戦の激しい艦砲射撃でケガをして生き残った人のことを
「艦砲射撃の食べ残し」
と言うことを知って悲しくなった
おばあちゃんの家族は
戦争が終わっていることも知らず
防空壕に隠れていた
戦車に乗ったアメリカ兵に「デテコイ」と言われたが
戦車でひき殺されると思い出て行かなかった
手榴弾を壕の中に投げられ
おばあちゃんは左の太ももに大けがをした
うじがわいて何度も皮がはがれるから
アメリカ軍の病院で
けがをしていない右の太ももの皮をはいで
皮ふ移植をして何とか助かった
でも、大きな傷あとが残った
傷のことを誰にも言えず
先生に叱られても
傷が見える体育着に着替えることが出来ず
学生時代は苦しんでいた
五歳のおばあちゃんが防空壕での歌を歌い
「艦砲射撃の食べ残し」と言われても
生きてくれて本当に良かったと思った
おばあちゃんに
生きていてくれて本当にありがとうと伝えようと
両手でぼくのほっぺをさわって
「生き延びたくとう ぬちぬ ちるがたん」
生き延びたから 命がつながったんだね
とおばあちゃんが言った
八十年前の戦争で
おばあちゃんは心と体に大きな傷を負った
その傷は何十年経っても消えない
人の命を奪い苦しめる戦争を二度と起こさないように
おばあちゃんから聞いた戦争の話を伝え続けていく
おばあちゃんが繋いでくれた命を大切に
一生懸命に生きていく